

職場環境の改善と人材の定着 に向けた取り組みについて

(社会福祉法人指導監査説明会、研修会 資料)

島根県健康福祉部地域福祉課
福祉基盤・指導監査スタッフ

1. 職員の処遇改善の取組の積極的な実施について

地域公益事業を含む地域における公益的な取組及び
職員の処遇改善の取組の積極的な実施について
(令和4年1月5日厚生労働省社会・援護局長通知)

【通知概要】

- 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、地域における福祉サービスの主たる担い手である社会福祉法人への期待は益々増加
- 様々な課題を抱えている方々への支援に当たっては、各種制度にインフォーマルな取組も組合せ、地域の中で重層的なセーフティネットを構築していくことが重要
- こうしたセーフティネットを支えつつ、最前線で福祉サービスの支援に当たっていただく職員の方々の処遇を確保していくことが重要



社会福祉法人におかれては、職員の処遇改善について、積極的な実施をお願いしたい。

【上記通知の記より】

2 今般の「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」（令和3年11月19日閣議決定）において、政府として、看護、介護、保育、幼児教育など現場で働く方々の収入の引上げに取り組むこととしていることを踏まえ、法人の社会福祉充実財産の有無に関わらず、職員の処遇改善に一層ご尽力をいただきたいこと。

特に、社会福祉充実計画の策定に当たっては、各種の福祉ニーズに応じた取組への活用を十分踏まえつつ、職員の処遇改善も可能な限り優先的に検討いただきたいこと。

2. しまね介護＋Safe協議会について

- 島根労働局が県内の介護施設に関連する事業者、団体、行政機関等を構成員として、自主的な労働安全衛生活動を定着・促進し、安全衛生に対する意識の向上・気運の醸成を図るため、令和4年度に設立されました。
- 島根労働局を中心に協議会構成員の取組や各種支援策をまとめたリーフレット
「労働災害防止に取り組むしまねの介護施設を紹介します」
が作成されました。（別添資料）

【リーフレット概要】

- 島根県内の介護施設では、転倒や腰痛等労働者自身の行動がきっかけとなる「行動災害」が全体の2/3
- 介護施設職員の、6割が転倒、5割が腰の痛みを経験
- 県内の介護施設をより安全な職場にするため、行動災害労災防止に取り組む事例を紹介。



今後SAFE コンソーシアム や、しまね介護+Safe 協議会 の
取組のもと、より安全な介護施設を応援

【SAFE コンソーシアムとは？】

- SAFE (Safer Action For Employees) の名称のもと、増加傾向にある労働災害（特に、日常生活でも発生 する 転倒や腰痛などの災害）の問題を自分ごととしてとらえ、顧客 や消費者 も含めたステークホルダー全員で解決を図っていくため、趣旨に 賛同した企業、団体にコンソーシアムを構成し労働災害問題の協議や、加盟者間の取組の共有、マッチング、労働安全衛生に取り組む加盟メンバーの認知度向上などを サポートする取組

※加盟は無料で、加盟要件、加盟の流れ等詳細については、専用ポータルサイトを ご覧ください。

3. 働きやすい職場づくりについて

- 職員の離職を防止し、人材の育成・職場定着を進めるためには、経営者や管理者が、働きやすく魅力ある職場づくりに積極的に取り組むことが必要です。
- 社会福祉法人の役員、管理者におかれては、経営する施設等の職場環境の改善を行い、職員の視点に立った、生き生きと働き続けることができる職場づくりをお願いしたい。
- 役員等の各種研修やセミナーへ積極的な参加もお願いしたい。

職員が安心して働ける職場環境がないと…

- 困っている職員がいても、余裕がなく職場のフォローが不十分
↓
- 職員の孤立化・離職の増加
↓
- 残った職員の負担がさらに増加
↓
- 福祉サービス利用者の支援にも支障
(場合によっては、職員による不祥事案や大きな事故にもつながりかねない。)

【セミナー等について】

- 魅力ある職場づくりや職場環境改善等に関するセミナー等は、社会福祉法人経営者協議会や社会福祉協議会等が主催する社会福祉法人向けの各種セミナーのほか、島根県商工労働部雇用政策課主催の「人財塾」もありますので、参加をご検討ください。

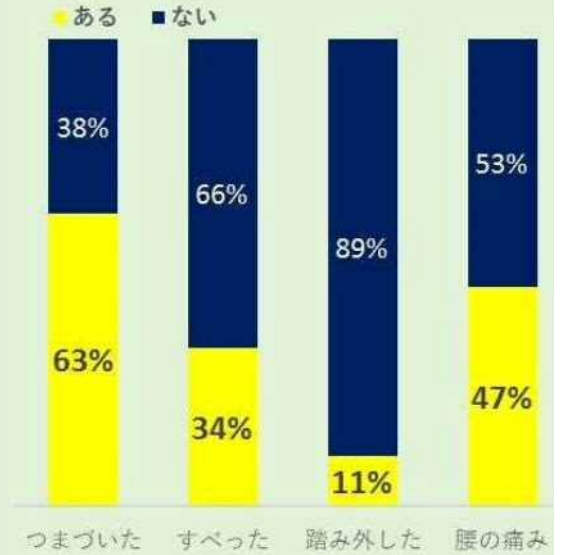
【人財塾】

- 平成22年度より、「人」を大切にする経営を通じて魅力ある雇用の場をつくり、地域経済を牽引する経営者を育成することを目的として実施
- 人財塾では、模範となる経営者や有識者の講話、地域に誇れる企業の視察など、人を大切にする経営の基本姿勢を学び、いい会社の社風や経営者の熱意を肌で感じるができるプログラム
- 詳細は別添の第14期塾生募集チラシをご覧ください。

労働災害防止に取り組む しまねの介護施設を紹介します

島根県内の介護施設では、転倒や腰痛等労働者自身の行動がきっかけとなる「行動災害」が全体の2/3を占めています。また、介護施設にお勤めの方で、6割が転倒、5割が腰の痛みを経験されています。

令和4年転倒・腰痛防止アンケート調査結果
(速報値・島根労働局調べ)



令和3年 事故の型別社会福祉施設の労働災害発生状況
(労働者死傷病報告より)



県内の介護施設をより安全な職場にするため、**行動災害労働災害防止に取り組む事例**を紹介します。今後**SAFEコンソーシアム**や、**しまね介護 + Safe協議会**の取組のもと、より安全な介護施設を応援していきます。

SAFEコンソーシアムとは？



SAFE (Safer Action For Employees) の名称のもと、増加傾向にある労働災害（特に、日常生活でも発生しうる転倒や腰痛などの災害）の問題を自分ごととしてとらえ、顧客や消費者も含めたステークホルダー全員で解決を図っていくため、趣旨に賛同した企業、団体にコンソーシアムを構成し労働災害問題の協議や、加盟者間の取組の共有、マッチング、労働安全衛生に取り組む加盟メンバーの認知度向上などをサポートする取組です。加盟は無料で、加盟要件、加盟の流れ等詳細については、専用ポータルサイトをご覧ください。



社会福祉法人やまゆり(出雲市)の事例

運動ポイントカードを導入しています



社会福祉法人 やまゆり

「運動ポイントカード」を定期的に配布し、運動の機会を持つきっかけづくりを行っています。
運動を習慣付けることで、筋力UPや柔軟性UPにつなげ、腰痛や、転倒予防となります。少しずつでも毎日運動したら皆勤賞で500円の商品券！
参加した職員全員に参加賞としてスティックコーヒーがもらえます！



社会福祉法人梅寿会(益田市)の事例



ラジオ体操を毎日実施しています

毎日、朝8時40分からラジオ体操を行っています。全身を使ったストレッチで気分もリフレッシュ。身体が暖かくなり、腰痛予防のほか、足も上がりやすくなるので、転倒防止にも役立っています。



社会福祉法人よこた福祉会(奥出雲町)の事例



元気で働き続けるための、セルフチェックを実施！

高齢労働者の労働災害を防止する取組の一つとして、セルフチェックを実施しています。現在の体力と自分の意識との違いを把握して、安全に働き続けられるように、毎年度実施しています。
今では高齢に限らず、希望者は誰でも参加でき、健康維持や転倒防止などに効果を上げています。



社会福祉法人仁摩福祉会(大田市)の事例



エゴスキュー体操を実施しています

アメリカで生まれ、ハリウッド女優やプロスポーツ選手の間で、大人気の超簡単体操です。正しく使われてない筋肉を動くようにする、筋肉を再教育する運動療法です。腰痛対策として、地元のインストラクター指導のもと、ワンクール3カ月間で6回取り組んでいますが、姿勢が良くなったと好評です。

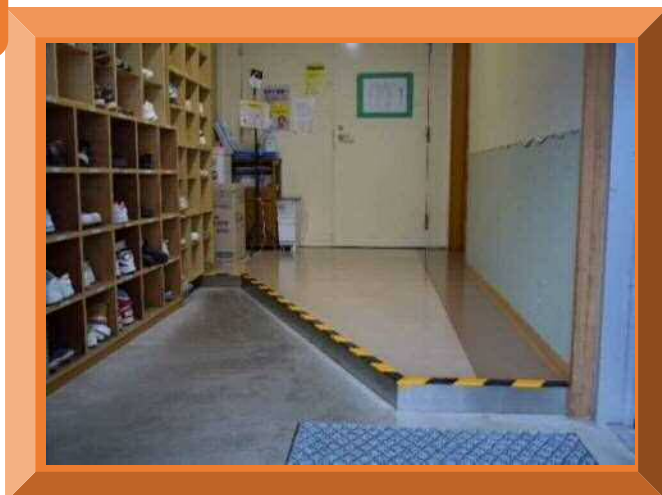


社会福祉法人浜田福祉会(浜田市)の事例



職員通用口の段差に虎柄テープで注意喚起

職員専用通用口で上履きに履き替えます。開苑当初より、高さ9センチほど段差のある設計構造でした。令和3年10月の転倒事故を機会に改善策として虎柄テープを貼り、段差の注意喚起と再発防止に努めています。



社会福祉法人山陰家庭学院(松江市)の事例



こころのホットライン 電話相談窓口を設置しています

毎月1回、日本精神科看護協会会員の相談員に直接つながるホットラインを設置。職場のストレス、疲れ、仕事の不安、なやみ等の相談に対応しています。



各種支援策のご紹介

公益財団法人介護労働安定センター島根支部

(電話 0852-25-8302)

「イラストで見る介護事故事例集 知っていますか?介護現場の隠れたリスク」等を作成し、ホームページに掲載しています。

働きやすい職場づくり支援(相談援助)を実施しています。



島根県介護福祉士会

(電話 0852-33-7294)

「職場の問題解決事例検討会」「介護技術講習」「リスクマネジメント研修会」「介護技術検討会」をそれぞれ開催しています。

利用者個々に対するケースの対応、職場の人間関係や組織のありかた等介護で困っている方へのホットラインを開設しています。



全国健康保険協会島根支部【協会けんぽ】

(電話 0852-59-5140)

協会けんぽ島根支部では、事業所の健康経営を応援するためヘルス・マネジメント認定制度にエントリーいただいている事業所(健康宣言事業所)を対象として、専門家が訪問し、従業員の皆様へ健康に関する講座(腰痛予防など)を行っています。受講料は無料です。職場研修のひとつに加えてみませんか。



島根県健康福祉部高齢者福祉課

(電話 0852-22-6337)

介護施設等における介護従事者の身体的負担の軽減や業務の効率化など、職場環境の改善を図ることを目的として、介護ロボット又はICTを導入するために要する経費に対し、補助金を交付しています。



島根県健康福祉部健康推進課

(電話 0852-22-5266)

ホームページに「しまね働く人と職場の健康づくり応援サイト」に健康づくり実践方法、事業所の取組紹介、事業所の取組応援制度などを掲載しています。

MまめでAあんしんに過ごすための健康情報をお届けし、いつでもどこでも気軽にMまなんで、必要な情報をEえらび、健康づくりに「プラス1(ワン)」していただく、「しまねMAMEインフォ」も開設しています。



しまねMAMEインフォ

独立行政法人労働者健康安全機構 島根産業保健総合支援センター【さんぽセンター】(電話 0852-59-5801)

作業管理・作業環境管理・健康管理の側面から快適な職場づくりを支援します。治療と仕事の両立支援、メンタルヘルス対策、高齢労働者の安全と健康確保等についての相談支援や、その他労働衛生に関する社内研修の講師派遣も実施しています。ご利用は全て無料です。



島根労働局職業安定部職業対策課

(電話 0852-20-7022)

介護事業主が、介護福祉機器(移動・昇降用リフト、装着型移乗介助機器、体位変換支援機器、特殊浴槽)の導入等を通じて、離職率の低下に取り組んだ場合に助成金を交付しています。



しまね介護+S a f e協議会は、島根県の介護業界の労働災害防止等様々な課題について協議しています。

- 社会福祉法人やまゆり
- 社会福祉法人仁摩福祉会
- 社会福祉法人梅寿会
- 社会福祉法人浜田福祉会
- 社会福祉法人よこた福祉会
- 社会福祉法人山陰家庭学院
- ◆島根労働局【事務局】

- 島根県健康福祉部
- 松江市健康福祉部
- 島根県社会福祉協議会
- 島根県老人福祉施設協議会
- 島根県老人保健施設協会
- 島根県介護福祉士会
- 全国健康保険協会島根支部
- 介護労働安定センター島根支部



(R5.2)

第14期
人財塾

人財塾は、自社の社員さんや地域の皆さんから「いい会社だね!」と言ってもらえる会社を目指し、人を大切にする経営学会会長 坂本光司氏(「日本でいちばん大切にしたい会社」ほか著書多数)の講義や地域に誇れる企業の視察など、年5回の活動を通じて「人を大切にする経営」を学びます。

人口減少に打ち勝ち、笑顔で暮らせる島根をつくる

島根創生
SHIMANE SOUSEI

島根県委託事業

人の問題を解決する ヒントがここに! 人財塾で学びませんか?



Program

第1回 7/24 [月] 13:00-17:00 開講式/公開講演

場所 ニューアーバンホテル

第1部 公開講演

■ 株式会社社長岡塗装店 常務取締役 古志野 純子 氏

【第13回 日本でいちばん大切にしたい会社大賞 中小企業基盤整備機構理事長賞 受賞】

第2部 人財塾14期生による自社紹介

第3部 坂本 光司 氏 講義

日本の経営学者。元法政大学大学院政策創造研究科教授、特定非営利活動法人SOHO・アット・しずおか理事長、人を大切にする経営学会会長、アチーブメント株式会社顧問、特定非営利活動法人オールしずおかベストコミュニティ理事長、特定非営利活動法人ストリートデザイン研究機構理事長、社会起業家大学顧問などを歴任した。

第2回 9/7 [木] 県内企業視察

午前の部 協栄金属工業株式会社

【第12回 日本でいちばん大切にしたい会社大賞 審査委員会特別賞 受賞】

午後の部 株式会社金見工務店

【第13回 日本でいちばん大切にしたい会社大賞 審査委員会特別賞 受賞】

第3回 10/5 [木] 13:00-16:00 講義

場所 ニューアーバンホテル

株式会社ボーダレスジャパン

社会起業家養成所「ボーダレスアカデミー」

【第9回 日本でいちばん大切にしたい会社大賞 審査委員会特別賞 受賞】

■ 代表 半澤 節 氏

参加のお申し込み・お問い合わせ

参加登録は
こちらから →



その他
お問い合わせは
こちらから →



第4回 11/8 [水] - 11/9 [木] 県外企業視察

1日目

■ ネットトヨタ南国株式会社 (高知県)

【「日本でいちばん大切にしたい会社2」に掲載】

■ 株式会社ピスタワークス研究所 (高知県)

2日目

■ 萩原工業株式会社 (岡山県)

【第8回 日本でいちばん大切にしたい会社大賞 経済産業大臣賞 受賞】

■ 株式会社フジワラテクノアート (岡山県)

【第13回 日本でいちばん大切にしたい会社大賞 審査委員会特別賞 受賞】

最終回 1/24 [水] 公開講演/閉講式

場所 ニューアーバンホテル

第1部 公開講演

■ 松川電気株式会社 代表取締役 小澤 邦比呂 氏

【「日本でいちばん大切にしたい会社8」に掲載】

第2部 14期生による成果発表

第3部 坂本 光司 氏 講義

【募集要項】

対象者 ・島根県内に拠点を有する企業の経営者・次期経営者
・原則、全5回の参加が可能な方

定員 25名 (先着順となります。お早めにお申し込みください。)

参加料 10,000円
(宿泊費・飲食費については別途ご負担となります。)

申込期限 令和5年7月10日 (月)

【お問い合わせ先】 一般社団法人しまね人財研究会 / 代表理事 太田 利昭

〒690-0816 島根県松江市北陵町1番地 テクノアークしまね本館西棟3F インキュベーションルーム8号室 ■ E-mail zinzaikoku@gmail.com

島根県商工労働部雇用政策課 担当/藤原 TEL 0852-22-5305